

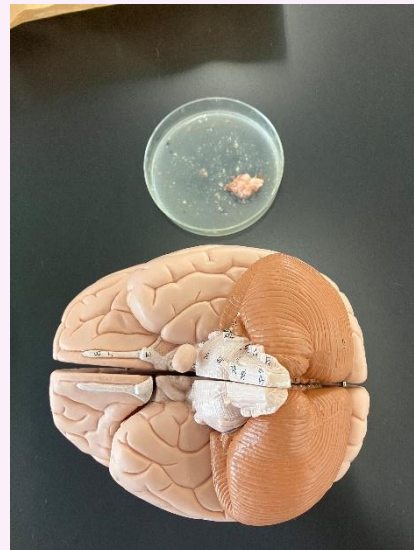
# ニワトリの脳の解剖

令和8年6月22日（月）

6月19日（金）に3年次生理系生物選択者の「生物」の授業で、『ニワトリの脳の解剖』を行いました。この実験はニワトリの脳を解剖し、大脳や小脳の形や大きさを比較するものです。後頭部の延髄を探し、頭蓋骨を外すとつるつるとした大脳が見えました。その下にしわの入った小脳がつながっていることも観察できました。裏側から観察すると、視神経が両眼に伸びていることも分かりました。ヒトの脳と比べて、発達している部位が異なることを実感することができました。



↑解剖させてくれた生き物（ニワトリ）に感謝しながら実験を進めます。



↑おまけの実験としてマグロの横紋筋を観察しました。



## 【参加した生徒の声】

- 鳥類は空を飛ぶから小脳が発達していると予想して、本当にそうだった。でも、思ったよりしわが少ない。
- 視神経が眼に繋がっている様子が確認できました。ブタの眼の解剖の復習ができた。
- 実験をしてみて、実物を手に取ると分かることがたくさんある！